



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月13日

上場会社名 株式会社 梅の花

上場取引所 東

コード番号 7604 URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営計画室長 (氏名) 上村 正幸

TEL 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	22,736	△1.3	478	△20.6	335	△41.9	107	△71.5
24年9月期第3四半期	23,031	2.3	603	△9.2	576	16.2	378	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 139百万円 (△62.7%) 24年9月期第3四半期 374百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	14.83	12.96
24年9月期第3四半期	53.77	—

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年9月期第3四半期	18,819		6,730	35.8			915.23	
24年9月期	18,157		5,989	33.0			858.11	

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 6,730百万円 24年9月期 5,989百万円

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。なお、平成24年9月期の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,556	△1.6	550	7.7	470	△15.7	250	△2.5	34.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	7,489,200 株	24年9月期	7,114,700 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	135,468 株	24年9月期	135,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	7,267,366 株	24年9月期3Q	7,037,700 株

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成25年8月7日付にて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当社は、平成24年11月14日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成25年9月期配当予想及び連結業績予想については、該当項目をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の景気は、震災からの復旧・復興に向けた従来の政策効果、アベノミクスによる企業の景況感や消費マインドの改善、米国を中心とした海外景気の持ち直しなどにより、昨年末を底に回復傾向にあります。一方、長期金利の上昇などの不安定な動きのほか、企業の設備投資の慎重姿勢の継続といった弱い動きも見られたといわれている中で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは前期に引き続き「思い立ったら即実行 実行力が会社を変える」を経営方針として、お客様に感極まるサービスを提供できるように取り組んでまいりました。

販売強化策といたしましては、店舗責任者によるお客様へのご挨拶、ご来店頂いたお客様への手書きによるお礼状の送付及び近隣の企業への訪問営業活動を行っております。さらに、季節釜めしの店「花小梅」を積極的に展開し新しいお客様の開拓を行っております。

また、当社は平成24年11月にエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社との資本・業務提携契約を締結し、同社を割当先とした第三者割当による新株式の発行及び無担保転換社債型新株予約権付社債の発行をいたしました。資本・業務提携により、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社及びそのグループ会社の強みである財務体質や販売力と当社の強みである商品開発力及び商品の供給体制等を融合することで、両社の企業価値を向上できるものと考えております。

店舗の出店及び閉店につきましては、外食事業4店舗出店及び1店舗閉店、テイクアウト事業8店舗出店及び8店舗閉店により、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は259店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高227億36百万円（前年同期比98.7%）、営業利益4億78百万円（前年同期比79.4%）、経常利益3億35百万円（前年同期比58.1%）、四半期純利益1億7百万円（前年同期比28.5%）となりました。

なお、セグメント別の状況は次のとおりであります。

(外食事業)

外食店におきましては、販売強化策として5月よりお値打ち感のある特別懐石を提供し、梅の花ポイントカードのポイント2倍の付与、ワンコインドリンクといったキャンペーンを実施しております。また、お持ち帰り商品として、うなぎ弁当の販売のお声かけを強化し、新商品の佃煮「梅大黒」を開発して売上高の拡大を図っております。

さらに、お客様に最上のサービスを提供できるように、定期的にテーマを決めて顧客満足度向上活動（KKS活動）を行っております。

経費の削減につきましては、前期に引き続き人件費コントロールに重点を置き、人員配置や勤務シフトを見直すことで、サービス水準を落とすことなく人件費を削減し利益率の向上に努めております。

出店及び閉店につきましては、梅の花は1店舗出店、1店舗閉店し68店舗、チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗は花小梅を3店舗出店し5店舗となりました。

従いまして、外食事業の全店舗数は80店舗、売上高は144億77百万円（前年同期比98.8%）、セグメント利益10億57百万円（前年同期比91.6%）となりました。

(テイクアウト事業)

古市庵テイクアウト店におきましては、顧客の囲い込みを目的としてポイントカードを導入するとともに、「雨の日企画」を実施しております。また、新商品「浪花寿司」及び「母の日二段重」の開発により売上高の拡大に努めております。

梅の花テイクアウト店におきましては、毎月2日は「麩の日」、12日は「豆腐の日」、28日は「湯葉揚げの日」等の特売日を設定し、主力商品の認知度向上を図るとともに、副菜に加え主菜メニューの開発を行い、取り扱い品目数を増やすなどの販売強化策を実施しております。

出店及び閉店につきましては、古市庵テイクアウト店は5店舗出店、6店舗閉店し135店舗、梅の花テイクアウト店は1店舗出店、1店舗閉店し34店舗、その他店舗は2店舗出店、1店舗閉店し10店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は179店舗、売上高は82億58百万円（前年同期比98.7%）、セグメント利益63百万円（前年同期比49.9%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ6億61百万円増加し、188億19百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億20百万円、設備投資により有形固定資産合計が4億51百万円増加したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ79百万円減少し、120億88百万円となりました。これは主に、無担保転換社債型新株予約権付社債の発行により社債が22億59百万円増加した一方で、借入金の返済により借入金総額が19億56百万円、未払金が2億59百万円、退職給付引当金が59百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ7億41百万円増加し、67億30百万円となりました。これは主に、第三者割当による新株式の発行により資本金が3億18百万円、資本剰余金が3億18百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20,955千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,684,430	1,804,863
売掛金	1,283,412	1,319,301
商品及び製品	60,976	75,103
原材料及び貯蔵品	164,563	174,448
繰延税金資産	236,201	146,088
その他	442,446	451,911
貸倒引当金	△1,758	△1,558
流動資産合計	3,870,272	3,970,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,501,732	6,837,154
機械装置及び運搬具（純額）	125,513	195,009
土地	4,636,426	4,631,718
建設仮勘定	8,523	5,047
その他（純額）	515,335	569,751
有形固定資産合計	11,787,532	12,238,681
無形固定資産		
のれん	578,161	491,437
その他	63,955	76,156
無形固定資産合計	642,117	567,594
投資その他の資産		
投資有価証券	54,457	122,700
長期貸付金	77,568	183,734
繰延税金資産	23,416	24,119
敷金及び保証金	1,651,177	1,663,116
その他	140,430	140,148
貸倒引当金	△89,843	△91,212
投資その他の資産合計	1,857,207	2,042,606
固定資産合計	14,286,858	14,848,882
資産合計	18,157,131	18,819,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	584,153	603,245
短期借入金	2,000,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,423,786	1,618,119
未払金	1,488,794	1,229,357
未払法人税等	39,200	50,400
賞与引当金	235,200	128,200
ポイント引当金	139,145	158,274
その他	616,990	615,054
流動負債合計	7,527,269	6,002,650
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	2,259,675
長期借入金	3,703,634	2,953,024
退職給付引当金	155,712	96,020
資産除去債務	612,635	635,644
その他	168,871	141,662
固定負債合計	4,640,854	6,086,026
負債合計	12,168,124	12,088,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,852	4,123,177
資本剰余金	3,181,841	3,500,166
利益剰余金	△749,023	△676,111
自己株式	△238,011	△238,147
株主資本合計	5,999,658	6,709,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,925	26,004
為替換算調整勘定	△4,725	△4,725
その他の包括利益累計額合計	△10,651	21,278
純資産合計	5,989,007	6,730,365
負債純資産合計	18,157,131	18,819,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	23,031,741	22,736,545
売上原価	6,644,019	6,715,307
売上総利益	16,387,722	16,021,238
販売費及び一般管理費	15,784,320	15,542,435
営業利益	603,402	478,802
営業外収益		
受取利息	3,267	3,119
受取配当金	1,734	1,794
受取手数料	15,404	13,879
デリバティブ評価益	74,835	—
雑収入	20,145	21,965
営業外収益合計	115,387	40,758
営業外費用		
支払利息	91,520	62,844
株式交付費	—	34,651
社債発行費	—	32,111
雑損失	50,649	54,829
営業外費用合計	142,169	184,436
経常利益	576,620	335,125
特別損失		
固定資産除売却損	17,074	83,325
減損損失	775	10,073
特別損失合計	17,849	93,398
税金等調整前四半期純利益	558,770	241,727
法人税、住民税及び事業税	24,379	44,508
法人税等調整額	155,991	89,409
法人税等合計	180,371	133,917
少数株主損益調整前四半期純利益	378,399	107,809
四半期純利益	378,399	107,809

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	378,399	107,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,797	31,930
その他の包括利益合計	△3,797	31,930
四半期包括利益	374,602	139,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374,602	139,739
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月3日付で、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,123,177千円、資本剰余金が3,500,166千円となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年10月1日至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,661,051	8,370,689	23,031,741	—	23,031,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,360	28,671	35,031	△35,031	—
計	14,667,412	8,399,360	23,066,773	△35,031	23,031,741
セグメント利益	1,154,943	128,161	1,283,104	△679,702	603,402

(注) 1 セグメント利益の調整額△679,702千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年10月1日至平成25年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,477,821	8,258,724	22,736,545	—	22,736,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,760	25,259	32,020	△32,020	—
計	14,484,582	8,283,984	22,768,566	△32,020	22,736,545
セグメント利益	1,057,841	63,919	1,121,760	△642,957	478,802

(注) 1 セグメント利益の調整額△642,957千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。